

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI武蔵浦和		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援計画に沿って支援が行われている。達成出来たら次の課題も示してくれる。	・常に支援計画を確認できるよう、フィードバック時に使うファイルに目標を記載している。	・支援目標に沿った話し合いと具体的な手立てを共有していく。
2	・今困っていること、改善したいことを相談するとすぐに対応する。	・フィードバック時に当日の活動以外に気になることがあればお子様の様子を聞くようになっている。	・支援計画更新の他に、気になることがあれば定期的な面談を行っている。
3	・見学を通して子どもへの声掛け方法を学ぶことができる。	・親子プログラムを通し、実際に活動している様子を間近に見ることができる。	・支援の質を高める為に、積極的に外部研修等に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・小集団療育とはいえ、1クールあたりの人数が増えてきている。その為個別に対応する時間が捻出できない状況になることがある。	・利用するお子様が増えてきている。	・比較的利用数の少ないところへのご案内をしている。人数が多い場合は指導員の立ち位置や支援内容と流れを随時確認していく。
2	・提携している駐車場がない為、保護者様より送迎が大変というご意見をいただいている。	・立地的な要因。	契約時に駐車場がないことを伝えたのち、車で送迎する場合は最寄りのパーキングのご案内をする。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI武蔵浦和

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 28 回収数 18

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	0	0	0	・広く動き回れるスペースがある。	法令を遵守したスペースは勿論のこと、建築基準法による用途を変更し運動できるスペースを確保しています。人数が多い時はサーキットをつつまたは小グループに分けて運動量が確保できるよう工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	1	・必ず2人以上いる。	法令で定められている配置数に加え、保育士、児童指導員等、その他指導員のいずれかを1名以上配置する体制をとっております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	1	・ 気の散りやすい子どもたちが多いため、最低限の情報量で良いと思う ・ 前に利用したお子様の汚れが気になるようで、トイレを利用した際に確認をしていただけるとありがたいです。	毎日掃除、消毒作業を行っておりますが、使用後の確認を含め、より清潔感を保てるよう努めてまいります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	1	・ 日々の対応により、子どもの成長を感じることができる。	ありがとうございます。 職員一同、引き続き支援内容を研鑽しつつ、より良い支援に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	0	・ 面談に時間をかけて対応していただいている。	引き続き、お子様に見合った個別支援計画を立案できるよう、細やかな面談を心がけてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	3	・ 計画書に沿って支援が行われている。達成できたら次の課題の提案も示してくれる。	引き続き、ガイドラインに沿った具体的な支援を提供できるよう努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	0	・ 様々なイベント開催ありがとうございます。 ・ 責任者が新しい方になってからイベントが多く子どもが楽しそう。	ありがとうございます。 今後もお子様が興味を持ち、自発的に取り組めるプログラムを提案できるよう進めてまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	7	8	・ 必要としていないので問題ございません。	特段交流はありませんが、教室のことを知っていただくため定期的に周知活動を行っております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	2	2	・ 見学を通して子どもへの声掛け方法を学ばせて頂いています。	定期的に親子参加プログラムを開催しております。日頃のお子様の療育での様子を見ていただき成長を共有できる時間となれば幸いです。ご意見等ございましたらお気軽にお知らせください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	1	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	3	11	・ 親子体操楽しかったです。 ・ 他の保護者との交流は不要と思っているため、交流会などがあつたとしても参加はしない。	希望される方には個別で情報の連携を案内しております。 保護者会は行っておりませんが、必要に応じ個別で情報を交換する案内はできますので、ご希望があればお声がけください。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	0	3	・LINEでイベントなどのお知らせで十分理解している。	今後も書面や掲示、SNS等でお知らせしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	3	・おそらく適切に管理されていると思っている。	個人情報同意書に基づいて管理し、十分な注意を払っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	3		各クールの状況を見ながら年度内に行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	2		各クールの状況を見ながら年度内に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0	・次年度より回数を増やしました。	活動の経験値を大切にしつつ、子ども達が自発的に楽しめるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	・今困っていること、改善したい事を相談するとすぐに対応していただけるので、いつも感謝しています。	ありがとうございます。 引き続きお子様一人一人の現状と向き合い、充実した時間となるよう支援に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI武蔵浦和		公表日		令和 7年 2月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	人数に応じて部屋を2つに分けたり、衝突防止の為マットを敷いたりしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	掲示物はシンプルでこども達にわかりやすいイラストを使っている。	掲示物等で視覚的アプローチはしてあるがバリアフリー化はしていない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日清掃・消毒を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別対応時には面談室等を使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		支援やイベントに於ける振り返りが時折曖昧なので、振り返りシートを作成。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日事前・事後のミーティングを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		今後、社内研修の充実化を図る予定。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	個で支援内容を考え実践している。支援内容に関して実践前に皆で共有、より良い支援に努めている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	基本的には複数人で行う療育をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	3		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	地域で研修会等開かれる際は、積極的に参加するよう心掛けている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		今後、事業所内で無料体験を行う予定。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		親子プログラムではお子様の成長段階に必要な運動の情報提供をしたが、研修はしていない。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	定期的に全員行っているわけではないが、日ごろ、相談などがあればフィードバック時や面談時に支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	2		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		今後体験会や事業説明会を実施する予定。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	全員の服薬を把握できていない。	イベント等でお菓子配布をする場面有。アレルギー表を作成し、アレルギーを留意しながら配布している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI武蔵浦和		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・別の学校、他学年との交流が持てる。	・集団遊びでは学年に応じて役割を持たせたりすることで、より参加意識が芽生えるよう進めている。	・プログラムの充実化。
2	・特性に理解のある場で、否定されずに行動できる安心感がある。	・職員間のミーティングにて前回の申し送り等の事前確認、振り返りを徹底している。	・特性に応じた支援内容を組めるよう、研修や学校訪問等に積極的に参加していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・教室が運動するには少し狭く感じる。	・小学生以降のお子様が多く、人数的に教室が圧迫される。	・サーキット等2つに分ける、小グループで行う等で間隔をあげ、運動量を確保できるよう進めていく。
2	・提携している駐車場がない為、保護者様より送迎が大変というご意見をいただいている。	・立地的な要因。	・契約時に駐車場がないことを伝えたのち、車で送迎する場合は最寄りのパーキングの案内をする。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI武蔵浦和教室

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 44 回収数 34

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	2	4	3	・もう少し広いほうが保護者との安全を確保できると考えます。 ・鬼ごっこなど走る系の運動には少し狭い。人数が多いとぶつかっている。 ・教室の明るさ、温度もとても良いと思います。 ・運動するには少し狭いように感じます。	法令を遵守したスペースは勿論のこと、建築基準法による用途を変更し運動できるスペースを確保しています。人数が多い時はサーキットを2つまたは小グループに分けて運動量が確保できるよう工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	1	0	0	・子ども職員不足と聞きます。皆さんいつもありがとうございます。 ・先生がたくさんいらっしゃって安心できます。	お気遣いいただきありがとうございます。法令で定められている配置数に加え、保育士、児童指導員等、その他指導員のいずれかを1名以上配置する体制をとっておりますのでご安心ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	1	0	0	・玄関が狭いため、足に障害のある子どもには靴の着脱がしづらい	運動スペース確保のため玄関が狭くなっており、入退室時の混雑等、日頃よりご不便おかけしており申し訳ございません。混雑緩和のため外履きのまま入室できる部分を広くしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	0	0	0	・とても清潔です。 ・運動時、危険な所がなくとても良い空間だと思います。	毎日掃除、消毒作業を行っており清潔感を保つように努めております。また視覚障がいのお子様もいらっしゃるため、イベント行事以外は必要最低限の掲示物とさせていただきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	2	0	1	・苦手なこと、好きなことを理解し、声をかけて下さっていると思います。	一人一人のお子様の特性、好きなことや苦手なこと等を職員間で共通理解してかわるようにはしております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	3	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	0	0	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	2	0	1	・送り迎えがあるととても助かります。車が停められないので困ります。	ご意見いただきありがとうございます。日頃よりお子様の送迎にご協力いただきまして心より感謝申し上げます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	2	0	0	・いつも考えてくださったプログラムで工夫されていると思います。	ありがとうございます。今後もお子様が興味を持ち、自発的に取り組めるプログラムを提案できるように進めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	10	13	・接する他のお子様たちが別の学校、学年でもあるので良い機会がいつもあります。 ・交流は小学校で行っているため、放デイは現状のままで大丈夫です。 ・教室内で一緒のお子さんとは、名前を呼ぶプログラムがあり、交流できていると思います。	特段交流はありませんが、教室のことを知っていたくため定期的に周知活動を行っております。
保護者への対応	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	1	0	・時間をたくさんとってくださり説明していただきました。	契約時に説明しております。何かご質問や不明点等ございましたら随時受け付けておりますのでご連絡ください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	9	0	3	・参加できず残念でしたが、親子プログラムがありました。	定期的に親子参加プログラムを開催しております。日頃のお子様の療育での様子を見ていただき成長を共有できる時間となれば幸いです。ご意見等ございましたらお気軽にお知らせください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	4	0	0	・当初は当日の活動状況について録音による説明があったが、現在は無くなっているが、特段の説明はなかった。 ・終わりに伝えてくださるので有難いです。	ご意見ありがとうございます。書面にて通知させていただいておりますが、口頭での説明に不足があり申し訳ございませんでした。今後、十分に留意してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2	1	1	・LINEでもやり取りさせていただいて助かっています。	個別支援面談は6ヶ月以内に実施しております。個別支援面談以外に何かご相談等ございましたら家族支援を行っておりますのでご利用ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1	0	0	・モニタリング面談の際には起きた事象を伝えるだけでなく、その先のような支援をするのか具体的に提示していただけるので親として落ち込むことなく前向きな気持ちになります。親のメンタルケアまで考えて伝えていただいていると感じます。 ・理解ある方からの支援で、とても優しく、注意も下さり有難いです。	ありがとうございます。今後も共感的支援を心がけてお子様、保護者様とかわり合いより良い支援に繋げてまいります。

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	6	8	10	・一人っ子です。 ・先日行われたペアレントトレーニングでは親子で楽しめましたが、障害の特性や学年もそれぞれなので、保護者の交流は難しいと感じます。	希望される方には個別で情報の連携を案内しております。 保護者会は行っておりませんが、必要に応じ個別で情報を交換する案内はできますので、ご希望があればお声がけください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	3	0	5	未記入1	対応の体制が整備されていることは周知しており、随時受け付けております。 相談があった際は速やかに対応させていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	3	0	0	未記入1	個々に応じて配慮しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	7	0	5	未記入1 ・普段より丁寧にお話をいただいたり、見学があるので必要ないかと思えます。	今後も書面や掲示、SNS等でお知らせしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	3	1	0	未記入1	個人情報同意書に基づいて管理し、十分な注意を払っております。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	1	3	未記入1	各クールの状況を見ながら年度内に行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	2	0	3	未記入1	各クールの状況を見ながら年度内に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	4	0	2	未記入1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	0	6	未記入1	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	3	0	0	未記入1 ・特性に理解のある場で、否定されずに行動できる安心感があるように感じます。	ありがとうございます。 今後お子様に寄り添い、ご家族様も安心感が持てる支援を心がけてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	4	0	0	未記入1 ・とても楽しみにしており先生達の支援のおかげです。 ・行き渋りが出ることも多いですが、理由はなかなかわかりませんが、イベントを企画して頂いたり、相談を受けて頂いたり対応してもらいありがとうございます。 ・先生達とお喋りしたり隙間時間に遊んでもらえたりするのも楽しみのようです。 ・本人に聞いたところ「まあまあ」と言っていました。	嬉しいコメントありがとうございます。今後も子ども達が楽しめるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	2	0	0	未記入1 ・これからも小さなできたを一つずつ積み重ねて成長してもらいたいです。	お子様の成長の一助となれるよう、引き続き支援に努めて参ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	令和 7年 2月 21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	人数に応じて部屋を2つに分けたり、衝突防止の為にマットを敷いたりしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	掲示物はシンプルでこども達にわかりやすいイラストを使っている。	掲示物等で視覚的アプローチはしてあるがバリアフリー化はしていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日清掃・消毒を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別対応時には面談室等を使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		支援やイベントに関しての振り返りが時折曖昧なので、振り返りシートを作成。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日事前・事後のミーティングを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		今後、社内研修の充実化を図る予定。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	個で支援内容を考え実践している。支援内容に関して実践前に皆で共有、より良い支援に努めている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	基本的には複数人で行う療育をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	3		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	4		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5		個別ファイルを遡り、お子様の変化や課題に対する振り返りをしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	定期的に全員行っているわけではないが、日ごろ、相談などがあればフィードバック時や面談時に支援を行っている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	親子プログラムではお子様の成長段階に必要な運動の情報提供をしている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5		今後体験会や事業説明会を実施する予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3		イベント等でお菓子配布をする場面有。アレルギー表を作成し、アレルギーを留意しながら配布している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			